

国土防災リモートセンシング研究会 InSAR実利用化ワーキング活動報告

会長：町田 聡(パシフィックコンサルタンツ㈱) 幹事：黒台昌弘(㈱間組、E-mail:kurodai@hazama.co.jp)
InSAR実利用化WGリーダー：三尾 有年(セントラルコンピュータサービス㈱、E-mail:amio@ccs.co.jp)

◎はじめに

国土防災リモートセンシング研究会InSAR実利用化ワーキングは、実利用の観点から、InSARの適用分野の検証や適用上の課題の抽出などを研究課題として活動している。今年度は、PALSARに関する情報交換、InSAR処理ソフトウェアの評価検証などに 加えて、地盤沈下計測に対するInSARの適用性検討をさらに進めて、「InSARによる地盤変位計測ガイドライン(案)」を作成する予定である。

◎DInSAR 地盤沈下マップ



Fig.1 計測対象地域(シンガポール)

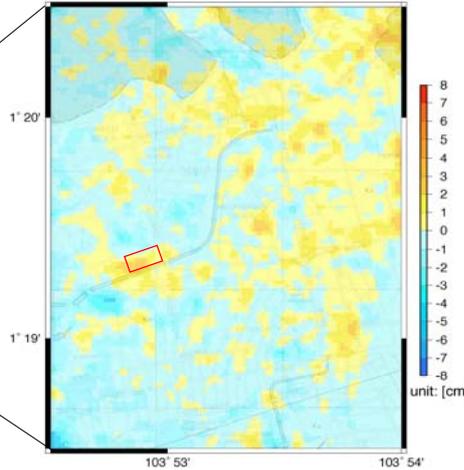


Fig.2 InSAR地盤沈下マップ
(ペア1:2003.10.10-2004.7.16)

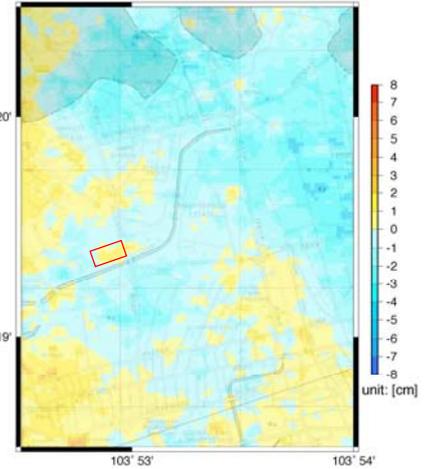


Fig.3 InSAR地盤沈下マップ
(ペア2:2004.2.27-2004.8.20)



Fig.4 地盤沈下エリア写真

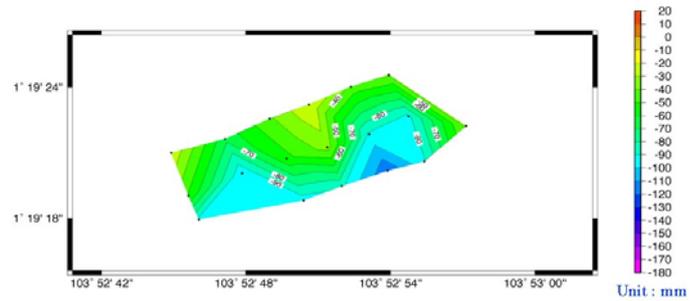
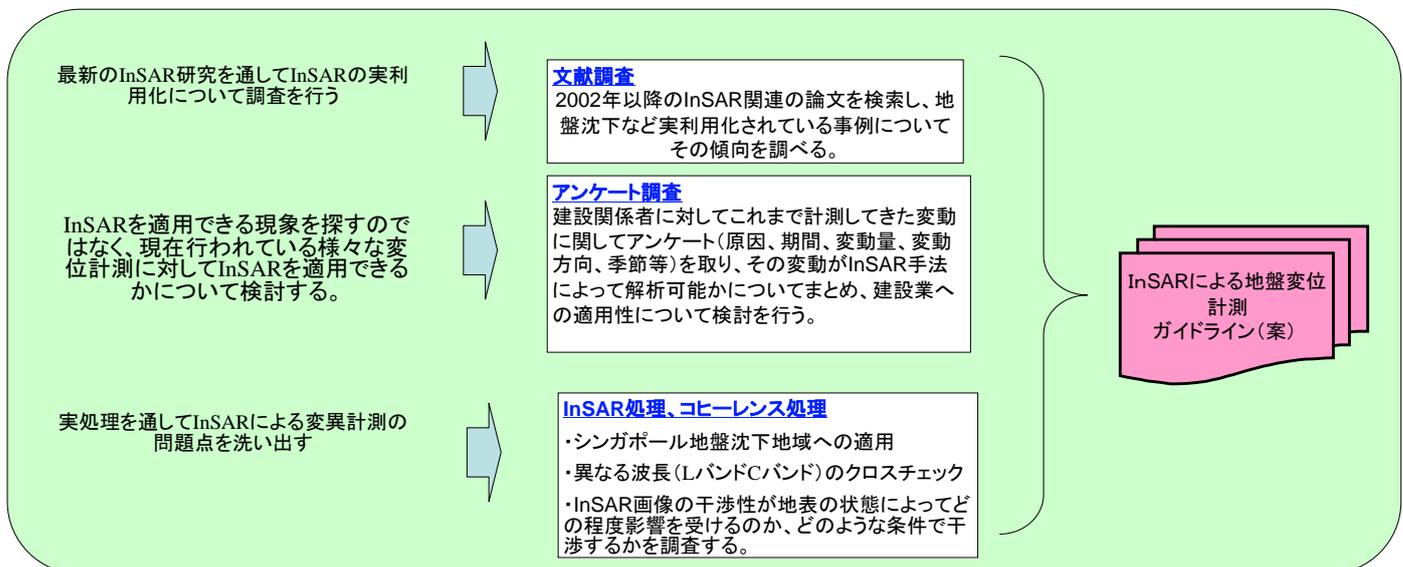


Fig.5 水準測量データによる地盤沈下マップ
(2004.2~2004.8)

◎今後のワーキング活動内容



お知らせ：国土防災リモートセンシング研究会は、国土管理・防災分野への衛星リモートセンシングデータの実用化について、積極的に議論に参加していただけるメンバーを募集しています。ご興味のある方は上記の幹事あるいはWGリーダーまでメールで お問い合わせください。